

葛飾区子ども・子育て支援
基礎調査報告書

- グループヒアリング結果概要 -

令和7年（2025）3月

葛 飾 区

第1章 グループヒアリング概要.....	1
(1) ヒアリング実施日等.....	1
ア 出産を控える妊婦とその配偶者に対するヒアリング.....	1
イ 助産師に対するヒアリング.....	1
ウ 発達に課題のある子どもの保護者に対するヒアリング.....	2
エ 児童虐待の専門支援者等に対するヒアリング.....	2
第2章 グループヒアリング結果.....	3
(1) 出産を控える妊婦とその配偶者に対するヒアリング結果.....	3
(2) 助産師に対するヒアリング結果.....	4
(3) 発達に課題のある子どもの保護者に対するヒアリング結果.....	6
(4) 児童虐待の専門支援者等に対するヒアリング結果.....	8

第1章 グループヒアリング概要

(1) ヒアリング実施日等

ア 出産を控える妊婦とその配偶者に対するヒアリング

ヒアリング実施日	令和6年3月1日(金)
実施場所	金町保健センター
対象者	出産を控える妊婦とその配偶者
ヒアリング形式	グループ(出産を控える妊婦3名、配偶者2名)
ヒアリング項目	出産に関する不安と困りごとについて 手続きに関することについて その他

イ 助産師に対するヒアリング

ヒアリング実施日	令和6年2月21日(水)
実施場所	健康プラザかつしか
対象者	助産師
ヒアリング形式	グループ(5名)
ヒアリング項目	妊婦の抱えている不安や課題について 出産方法の選択について 育児に関する情報の取得について 地域性やネットの影響について コロナ禍の影響について 妊娠中のオンラインによる相談の利点について 葛飾区の取組について 他の自治体との比較について

ウ 発達に課題のある子どもの保護者に対するヒアリング

ヒアリング実施日	令和6年3月15日（金）
実施場所	葛飾幼児グループ
対象者	児童発達支援施設を利用している保護者
ヒアリング形式	グループ（5名）
ヒアリング項目	保育施設の利用状況と課題について 幼稚園・保育園の先生とのコミュニケーションについて 復職の課題について 子育てひろばの重要性と課題について 児童館の運営と課題について 保育園・幼稚園の運営と課題について 一時保育の利用と課題について 子育て支援の情報提供と相談窓口について 小学校入学に対する不安について 柔軟な対応と支援の必要性について 居場所づくりと学習支援について

エ 児童虐待の専門支援者等に対するヒアリング

ヒアリング実施日	令和6年2月29日（木）
実施場所	健康プラザかつしか
対象者	児童虐待防止に関する専門支援者
ヒアリング形式	グループ（3人）
ヒアリング項目	ショートステイ事業の現状と課題について 養育支援訪問事業の現状と課題について 支援事業の現状と課題について 地域特性に応じた子育て支援と外国人対応の重要性について

第2章 グループヒアリング結果

(1) 出産を控える妊婦とその配偶者に対するヒアリング結果

出産に関する不安と困りごとについて

- 両親が遠方に住んでいるため、頼れる人が周りにいません。
- 男性の育児休業について、会社と相談して10か月の育児休業を取得予定ですが、給料が半年で8割、その後は減少するため、経済的な不安があります。
- 区の支援センターや施設の情報が集めにくいです。どこに何があるのか分かりません。
- 妊婦検診が自由診療で全額負担になることが多く、経済的な負担が大きいです。検査費用が高額なため、他の区ではどうなのか知りたいです。
- 妊娠は病気ではないため、少子化対策としてもっと支援がほしいです。

手続きに関することについて

- 1歳の誕生日を迎える頃から保育園を利用する予定です。まだ情報収集が十分ではないため、各保育園の情報を集め始めた段階です。
- 保育園の情報が分散しており、まとまった情報がほしいです。「何に特化しているか、何時から何時まで預かれるのか」が分かると助かります。
- 急な転勤で保育園の選び方が変わり、長時間預けられるところが必要になる可能性があります。

その他

- 子ども未来プラザなどの施設紹介があるとよいです。子育て支援ガイドブックは役立っています。
- インターネット上の情報は、信頼性が低いものが多いと感じます。区のホームページに信頼性の高い情報を掲載してほしいです。

(2) 助産師に対するヒアリング結果

妊婦の抱えている不安や課題について

- 妊娠中から保育園のことを気にする妊婦が多いと思います。出産後、仕事に復帰することへの不安が大きいです。保育園の入園が保証されないことへの不安もあります。
- 知り合いがいない土地での子育てに不安を感じるようです。配偶者が仕事で忙しく、頼れる人がいない状況があります。
- 妊娠中の収入面に不安を感じる妊婦が多いと思います。教育費や生活費に対する将来的な不安があります。

出産方法の選択について

- 無痛分娩を選択する妊婦が増えていると感じます。
- 無痛分娩のメリットとデメリットについての認識が不足していると思います。自然分娩と無痛分娩の選択に関する情報提供が重要だと思います。

育児に関する情報の取得について

- インターネットから情報を得ていることが多いようです。離乳食や保育園に関する情報を妊娠中から調べる妊婦が多いと思います。
- 先輩ママや助産師からの情報提供が、視野を広げる助けになると思います。コミュニティがないと一人で育児を頑張りがちだと思います。

地域性やネットの影響について

- 地域によって育児環境は異なると思います。妊婦の転入が多い地域と下町では、環境に違いを感じます。
- インターネットでの情報収集で、不安が増すことがあります。人と会って話すことで、不安が軽減されると思います。

コロナ禍の影響について

- オンラインでの産後ケアは、人が集まりにくいです。対面での産後ケアやカフェが人気です。

妊娠中のオンラインによる相談の利点について

- 利用者が都合のよい時間に相談できるので、便利だと好評です。
- 仕事を休んでまで相談するのは難しいため、オンラインが好まれています。
- 対面じゃないとできないことがたくさんあります。オンラインの利便性がある一方で、対面の重要性も認識されているところです。

葛飾区の取組について

- 支援について、「アンケートの意見を吸い上げて、来年の定員を増やしたり、回数を増やしたりしましょう」というように、住民の意見を反映しています。
- 妊婦に対する支援や補助は、年々拡大しています。回数や料金面での改善が進んでいます。

他の自治体との比較について

- 他の自治体では、助産師ではなく一般の業者が事業を運営していることが多いです。

(3) 発達に課題のある子どもの保護者に対するヒアリング結果

保育施設の利用状況と課題について

- 発達障害の子どもに対する支援が十分ではありません。補助金の増額が必要だと思います。
- 発達検査の結果がないと補助金が下りない制度について、見直しが必要だと思います。
- 5歳児検診の方法は、親の問診だけでは不十分だと思います。子どもとの面談や園からの聴き取りが必要だと思います。

幼稚園・保育園の先生とのコミュニケーションについて

- 毎朝幼稚園で先生に会えるため、密に連絡が取れます。
- 幼稚園のアプリ導入で、連絡が取りやすくなりました。
- バス通園の保護者は、コミュニケーションが取りにくいと感じます。コロナ禍の期間は、さらに難しくなりました。
- 保育所と訪問サービスは、利用が難しいため、改善が必要だと思います。

復職の課題について

- 親子で通わなければならないため、復職が難しいと感じています。
- 保育園には一応入れましたが、復職できず退園することになりました。
- 兄弟児の保育園入園について、要件を緩和してほしいです。

子育てひろばの重要性と課題について

- 子育てひろばは、親同士の友達関係や子ども同士の幼馴染関係を築くのに役立ちました。
- かつしか子ども劇場の子育てひろばがよい場所だと評価されていますが、認知度が低いです。もっと広めた方がよいですが、広め方が難しいと感じます。
- 「いろは」などの施設も予約制で、利用が難しいとの意見があります。
- 子育てひろばは、とてもよかったです。

児童館の運営と課題について

- 児童館の職員によって、運営に差を感じます。
- おもちゃが少ない児童館には、子どもが集まらないです。
- LINEでの入退室管理が一部の児童館で導入されていますが、全ての児童館で統一されていないです。登録が必要な場合とそうでない場合があり、混乱しています。

保育園・幼稚園の運営と課題について

- 他の県では所得制限なしで無償化している例があり、葛飾区でも同様の対応を検討してほしいです。
- 園に情報が伝わりにくいです。

一時保育の利用と課題について

- 一時保育は、新型コロナウイルスの影響で予約が取りにくくなり、利用が難しくなったと思います。
- 一時保育の料金がなくて、利用しにくいです。4時間の保育では作業が終わらず、6時間の保育が必要ですが、その場合は料金が高くなるので困っています。

子育て支援の情報提供と相談窓口について

- 子育てひろばや一時保育の情報が紙の資料で提供されており、アプリでの情報提供があるとよいと思います。
- 子育て中の悩みや緊急時に相談できる窓口が必要です。ホットラインの電話番号が、親子健康手帳（母子健康手帳）に記載されているとよいと思います。

小学校入学に対する不安について

- 数字の概念が理解できていない子どもが、小学校に上がることへの不安があります。将来的に数字を理解できるか心配です。
- ADHD の傾向がある子どもが、普通の学級にしか行けない現状があります。特別支援学級の選択肢がもっとあればよいと思います。

柔軟な対応と支援の必要性について

- 相談の資料に「お子さんのニーズに合った柔軟な対応をします」と書かれているが、実際には制約があり、柔軟な対応が難しい場合があります。子どもがつらくなり、学校に行けなくなることがあるため、柔軟な対応ができるクラスが必要だと思います。
- 長男は発音が不明瞭で支援教室を利用していますが、言葉の教室と併用できません。保護者が送り迎えの負担を負うので、併用を認めてもらえると助かります。発音の不明瞭さが友達関係でのいじめにつながる可能性があるためです。

居場所づくりと学習支援について

- 不登校の子どもへの対応や居場所づくり、学習支援が必要だと思います。
- 1年ごとの入札制による不安定さがあると思います。
- 事業者に対する助成金は必要だと思います。

(4) 児童虐待の専門支援者等に対するヒアリング結果

ショートステイ事業の現状と課題について

- 利用が副次的に減少することもあります。全体的には利用数は増加しています。
- 利用者は、主に仕事や家庭の事情で一時的に子どもを預ける必要がある親です。
- 広報活動が不足しているため、必要としている人々に情報が届いていないと感じます。広報活動を強化する必要があると思います。
- 利用者からは「知らなかったけれども、教えてもらったら安心した」という声が多いです。

養育支援訪問事業の現状と課題について

- 専門的な支援を行える人材が必要であり、支援体制の強化が求められています。
- 利用者は、主に子育てに困難を感じている親です。
- 支援の存在が十分に知られていないと感じます。必要な人々に情報が届いていないと感じます。
- サービスの認知度は、まだ低いです。

支援事業の現状と課題について

- 40代から80代までの子育て経験者にビジターの登録をしていただいています。養育経験から得た情報を提供しています。
- ビジターはボランティアとして活動し、費用は運営側が負担しています。
- ビジターは週1回(月4回)の活動を行っています。4回の活動後、必要に応じて再度依頼されることもあります。
- 本当に必要な人に支援が届いていない可能性があると感じます。
- SNSや雑誌を通じて広報活動を行い、口コミで広がっています。
- 運営側の設備や人員の問題があり、これ以上の事業拡大は難しいです。
- 拘束時間が長い職員の募集は難しく、支援を行う人材が集まりにくいです。
- 個別対応が必要な子どもが、増えています。

地域特性に応じた子育て支援と外国人対応の重要性について

- 地域ごとの特性や状況に応じた支援が必要です。
- スマートフォンを利用した情報提供は、重要だと考えています。
- 保育園や学校の先生が、情報提供者として重要な役割を果たすと考えています。
- 視覚的な情報提供は、効果的だと考えています。
- 外国人が増加していると思います。その対応について、必要性が増すと思います。
- 外国人向けの英語パンフレットなど、必要だと感じています。
- 支援の対象には、生活保護を受けている世帯も含まれます。
- 資源の不足が問題であり、ボランティア活動の対価を上乗せする必要があると思います。

葛飾区子ども・子育て支援
基礎調査報告書

- グループヒアリング結果概要 -

発行年月 令和7年(2025)3月
発行 葛飾区子育て支援部
子ども・子育て計画担当課
〒124-8555 葛飾区立石5-13-1
電話 03-5654-6202